

笑顔と真心で観光客の皆さんをおもてなし

きれいなまちでお出迎え

春季川干し清掃活動
企業や個人などのボランティア約300人が参加



3月23日、春秋恒例の行事「川干し清掃奉仕活動」が沢端川周辺で行われました。活動には、市内の企業や個人などのボランティア約300人が参加。白石城の内堀に当たる館堀と外堀に当たる沢端川を中心に、川沿いや川底のごみなどを拾い集めました。

平成16年から白石市観光協会と白石商工会議所が共催で行っているこの行事。参加者は「4月からDCがスタートするのできれいなまちで観光客の皆さんをお迎えし、沢端川周辺の白石城や武家屋敷を散策して楽しんでほしいです」と話してくれました。

真心込めた笑顔の花でお出迎え

NECインフロンティア東北
笑顔おもてなし隊がプランターを設置



4月10日、NECインフロンティア東北株式会社の社員約100人が、会社前の歩道や白石蔵王駅前の歩道にプランターを設置しました。この取り組みは、DCに合わせて花を植えたり、会社周辺市道などを定期的に清掃したりして観光客の皆さんをおもてなししようと社が企画。参加者は真心を込めて花を植え、笑顔の花を咲かせていました。同社はこれまでも、ボランティアで市道などの一定区間の清掃や緑化、除草などを行う「しろいしサンキューロード・サポーター」として環境美化活動を積極的に行っています。

白石ゆかりの戦国武将がお出迎え

奥州片倉組の片倉小十郎景綱と真田幸村
白石蔵王駅ホームに大型写真で登場



3月28日、白石蔵王駅下りホームの壁面を利用し「片倉小十郎と真田幸村歴史秘話の地～伊達の先陣片倉小十郎・日本一の兵真田幸村～」をテーマにした大型の写真が飾られました。この取り組みはDCに合わせて、同駅と市が企画。本市のすまゐ大使・白石戦国武将隊「奥州片倉組」の片倉小十郎景綱と真田幸村の2人が壁面に登場。白石城で撮影した、縦約2m、横約1mの大型写真が約20mにわたって飾られ、乗降客だけでなく、通過列車の乗客からも見ることができます。二代目片倉小十郎重長は、大坂夏の陣で戦った真田幸村の娘・阿梅を後妻に迎えるなど、本市は真田家ゆかりの地。多くの観光客を戦国武将の大型写真でお出迎えします。

甲冑姿でお出迎え

鉄道OBお出迎え甲冑やまびこ隊
白石蔵王駅で甲冑姿で県南をPR



4月～6月のDC期間中の土・日・祝日の午前9時50分～正午まで、白石蔵王駅で乗降客を甲冑姿でお出迎えしようと、東日本鉄道OB会白石支部の約20人が「鉄道OB会お出迎え甲冑やまびこ隊」を結成。甲冑姿の3人と、のぼり旗を手に観光パンフレットを手渡す2人が、毎週当番制で乗降客などをお出迎えしています。

乗降客は、甲冑姿の隊員たちの歓迎を受け、笑顔で歩み寄ってパンフレットを受け取ったり、記念撮影を行ったりする方も。同隊の大浦武勇さんは、「多くの人が訪れるきっかけになればうれしいです」と笑顔で話してくれました。



1_大鷹沢子ども太鼓の演奏 2_「笑顔おもてなし隊」が到着列車や通過列車の乗降客に手を振って笑顔で歓迎 3_県南2市7町の首長などがDC成功を誓い勝ちどき 4-5_新しく生まれ変わった「白石うーめん体操」が初披露され園児たちのかわいい踊りに会場が沸いた 6_よさこい走乱白石城のよさこいパフォーマンス

DC開幕！ 白石蔵王駅と白石城で 県南エリアオープニングイベント



4月～6月の3カ月間、宮城県内全域で開催される「仙台・宮城ステイネーションキャンペーン」(以下、DC)の県南エリアのオープニングイベントが4月6日、白石蔵王駅と白石城で開催されました。

午前に白石蔵王駅で行われた式典で、白石蔵王駅の東海林正年駅長は「県南エリアは豊富な観光資源に恵まれた県内でも有数の場所ですが、原石の場所もあります。多くの方に来てもらえる観光地になるよう育てていきたい」と思いを述べ、「あいつつ。風間市長が「震災からの復興と観光の再生の姿を全国に向けて強く発信する絶好の機会が、今回のDC。成功を目指して頑張りましょう」と述べました。

県南2市7町の首長などが甲冑姿に扮してテープカットを行った後、県南の当地キャラクターも加わって「エイ、エイ、オー」と勝ちどきを挙げ、DCの成功を誓いました。また、「みんなで新幹線に笑顔で手を振っておもてなし隊」のメンバーや詰め掛けた市民など約400人が、新幹線ホームで到着列車や通過列車の乗降客に手を振って歓迎。さらに、ひかり幼稚園児によるミニコンサートや大鷹沢子ども太鼓の演奏、ミニ新幹線乗車などが行われました。

午後には白石城で行われた式典では、白石市観光協会の佐藤善一会長が「いよいよDCが開幕しました。観光客の皆さんを白石市民は笑顔でお出迎えします。思い出に残るまち白石、もう一度来てみたい白石を満喫してください」とあいさつ。奥州白石温麺協同組合の吉見光宣理事長が「白石温麺をPRするため、仙台市を拠点に活動する『アトリエ自遊楽校』のたかはしあきらさんに作詞作曲を依頼し、組合で「白石うーめん体操」をCD化しました。また、楽しく元気なPR動画を市が制作し、3月末から「ユーチューブ」で配信しています。今日は市内の園児たちなどが白石城での体操を初披露します。白石の魅力が詰まったこの体操を、ぜひお楽しみください」と述べました。

「よさこい走乱白石城」のよさこいパフォーマンスの後、白石戦国武将隊「奥州片倉組」の演武や県南の当地キャラクターによる各市町のPR、さらに、「あきらちゃん・コロケくんミニミニコンサート」では、「白石うーめん体操」が初披露され、訪れた人たちは、一緒に歌ったり、踊ったりするなど、会場はたくさんの人たちの笑顔であふれていました。